

オーバルネクストETF情報

2013年3月4日号



TEL 03(5641)5777

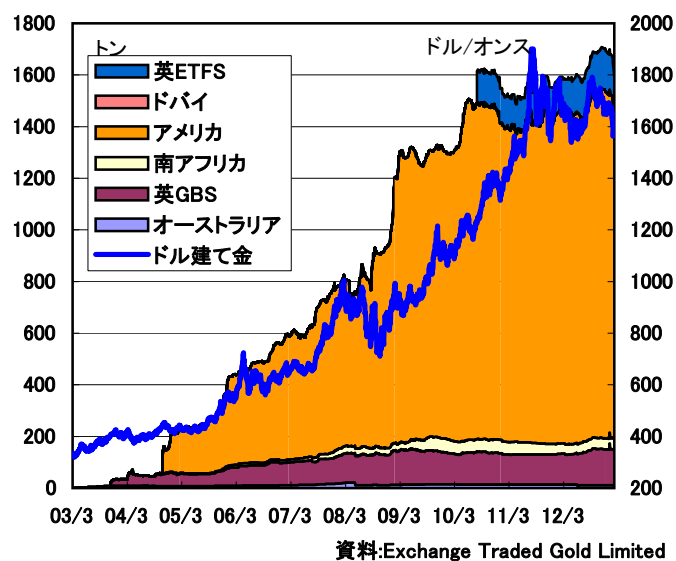
(株) オーバルネクスト
〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町 7-2

弊社ホームページで本レポートを無料公開中
<http://www.ovalnext.co.jp/>

 **Oval Next Corp.**

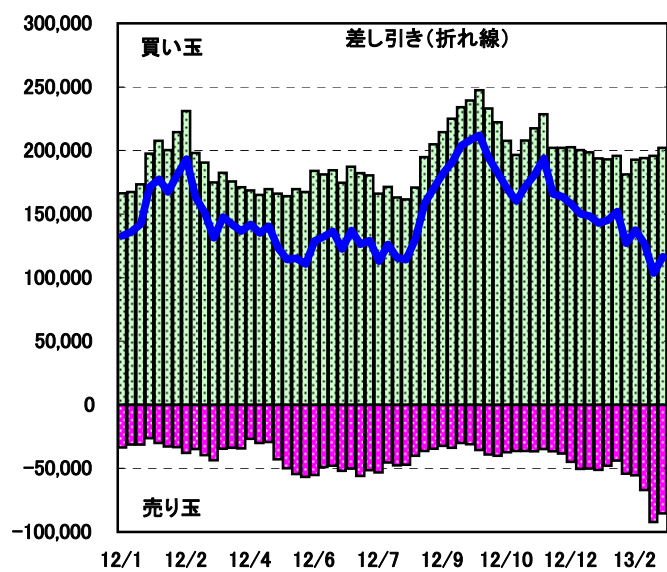
ETF残高は急減、先物買いは拡大

●金ETFの現物保有高



●大口投機家の取組=CFTC・NY金

単位: 枚



■金は投資資金の流出が続く

米商品先物取引委員会(CFTC)の建玉明細報告によると、2月26日時点のニューヨーク金の大口投機家の買い越しは11万6,599枚となり、前週の10万3,651枚から拡大した。今回は新規買いが6,086枚、買い戻しが6,862枚入り、買い越しを1万2,948枚拡大した。1日のニューヨークの金ETF(上場投信)の現物保有高は前週末比26.79トン減の1253.89トンとなった。米国の景気回復見通しなどを背景とした機関投資家の売りが続いた。

ドル建て現物相場は2011年9月5日、史上最高値1920.25ドルを付けた。その後は欧州の債務問題などを背景に株価が急落し、リスク回避の動きが上値を抑える要因になった。ただ米連邦公開市場委員会(FOMC)声明で、超低金利政策の長期化見通しが示されたことや、量的緩和第3弾(QE3)決定などが下支え要因になった。2012年は1527.15～1795.65ドルで推移した。

前週は、バーナンキ米連邦準備理事会(FRB)議長が議会証言で、量的緩和を強く擁護したことを受けて1,620ドル直前まで上昇する場面も見られたが、ドル高などを受けて反落した。米国の自動歳出削減開始を回避できなかったが、株価が堅調に推移するなどし、景気の先行きに対する楽観的な見方が強い。今週は米雇用統計などの発表があり、好調な内容になると、引き続き圧迫要因になる可能性がある。

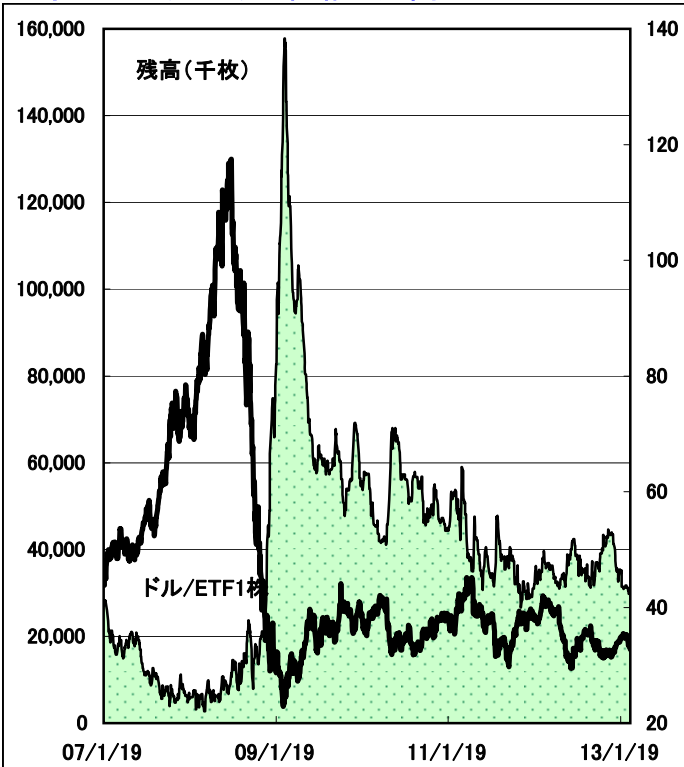
(オーバルネクスト 東海林勇行/3月4日記)

<免責事項>

オーバルネクストは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終決定はご自身の判断で行いますようお願いいたします。また掲載している情報の正確性については万全を期してはおりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、当社は利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、当社が提供するすべての情報について、当社の許可なく転用・販売することを固く禁じます。

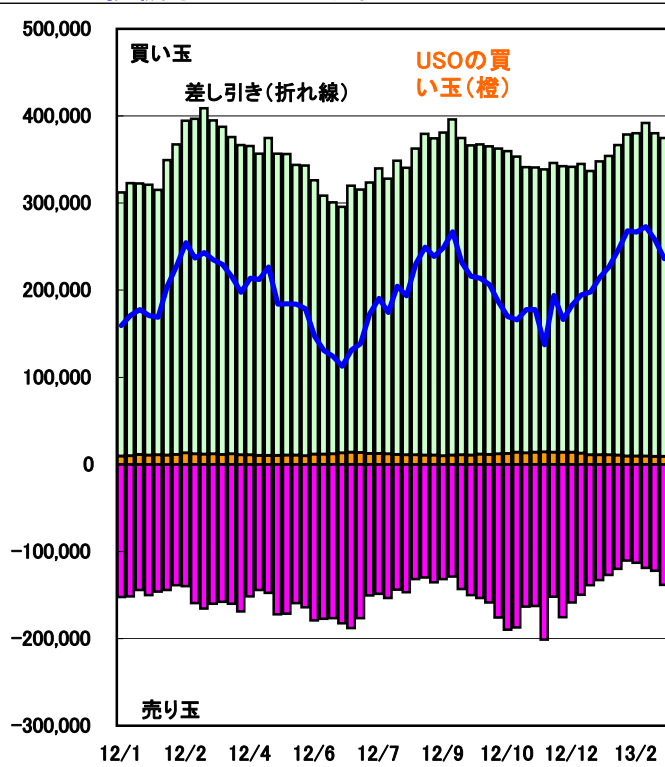
ETF残高は減少、先物買いは縮小

●原油ETF(USO)の価格と残高



●大口投機家とUSOの取組

単位:枚



■最近の動向と材料

ニューヨーク証券取引所(NYSE)で取引されている原油ETF(コード:USO)の残高は3月1日時点で2,960万株となり、前週末比20万株減少した。ニューヨーク原油は、イタリアの政局不安や米国の自動歳出削減開始による先行き不透明感などを受けて軟調となり、12月31日以来の安値90.04ドルを付けた。USOが先物市場につないでいる原油の買い玉は1日時点でニューヨーク・マーカンタイル取引所(NYMEX)で8,654枚(同74枚減)、インターコンチネンタル取引所(ICE)で2,000枚(同変わらず)となった。

米商品先物取引委員会(CFTC)建玉明細報告によると、2月26日時点のニューヨーク・マーカンタイル取引所(NYMEX)の原油の大口投機家の買い玉は37万4,809枚(前週38万0,355枚)、売り玉は13万8,711枚(同12万2,437枚)で23万6,098枚買い越しとなり、前週の25万7,918枚買い越しから、2万1,820枚買い越し幅を縮小した。USOの買い玉は大口投機家の2.4%(同2.4%)を占めている。インターコンチネンタル取引所(ICE)のWTI原油の大口投機家の取組は、買い玉が7万6,242枚(同8万1,381枚)、売り玉は5万6,770枚(同5万4,712枚)で1万9,472枚買い越し(同2万6,669枚買い越し)に縮小した。USOの買い玉は大口投機家の2.6%(同2.5%)を占めている。

【原油ETF残高と先物ポジション】

	United States Oil Fund, LP			先物ポジション			
	終値	出来高	残高	NYMEX	Financial Future	ICE	限月
13/2/25	33.21	3,807,467	29,900	8,762		2,000	4/13
13/2/26	33.33	6,548,405	30,400	8,942		2,000	4/13
13/2/27	33.40	5,019,646	29,600	8,654		2,000	4/13
13/2/28	33.06	5,312,970	29,600	8,654		2,000	4/13
13/3/1	32.74	4,953,260	29,600	8,654		2,000	4/13

単位:残高は千株

資料:NYSE、USO

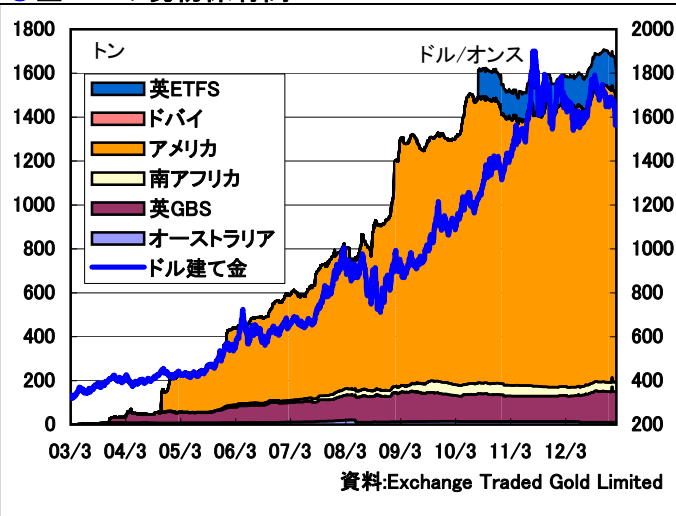
(オーバルネクスト 東海林勇行/3月4日記)

<免責事項>

オーバルネクストは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終決定はご自身の判断で行いますようお願いいたします。また掲載している情報の正確性については万全を期してはおりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、当社は利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、当社が提供するすべての情報について、当社の許可なく転用・販売することを固く禁じます。

金ETFの現物保有高は急減

●金ETFの現物保有高



●銀ETF(SLV)の現物保有量



■最近の動向と材料

世界12カ国に上場している金ETF(上場投資信託)の現物保有高は、2月27日時点で1602.80トンとなり、前週末比22.27トン減少した。米国で減少した。一部ヘッジファンドの経営難のうわさなどをを受けて投資資金の流出が始まると、景気改善の見方などを背景に一段と売られた。

ニューヨーク証券取引所(NYSE)の銀ETF(コード:SLV)の現物保有量は前週末比横ばいの1万0602.76トンとなった。ETFセキュリティーズの銀ETFの現物保有量は、ロンドン(コード:PHAG)が同4.19トン減の900.34トン、ニューヨーク(コード:SIVR)が同横ばいの584.73トンとなった。

【金ETF現物保有量詳細】

	豪州	英GBS	英ETFS	南ア	米国	ドバイ	合計	金現物相場
13/02/21	11.16	139.03	153.92	42.45	1290.31	0.00	1636.87	1,577.48
13/02/22	11.16	138.13	152.66	42.45	1280.67	0.00	1625.07	1,581.25
13/02/25	11.16	138.13	152.66	42.45	1272.85	0.00	1617.25	1,593.48
13/02/26	11.16	138.13	152.66	42.45	1270.44	0.00	1614.84	1,613.40
13/02/27	11.16	138.13	152.66	42.45	1258.40	0.00	1602.80	1,596.25

単位:トン、現物相場はドル/オンス

注:他の金ETFはIshare TRUST GOLD(27日現物保有は215.30トン)、米ETFセキュリティーズ(27日35.75トン)など。

資料:Exchange Traded Gold Limited

【銀ETF(NYSE:コードSLV)】

	銀ETF価格	出来高	現物保有量
13/02/21	27.73	14,438,547	10,539.6
13/02/22	27.83	10,441,063	10,602.8
13/02/25	28.07	10,088,839	10,602.8
13/02/26	28.41	16,434,526	10,602.8
13/02/27	28.01	8,078,657	10,602.8

単位:価格はドル/ETF、現物保有量はトン

資料:NYSE, iShares

注:他の銀ETFはETFセキュリティーズ(ロンドン 27日900.34トン、NY 27日584.73トン)。

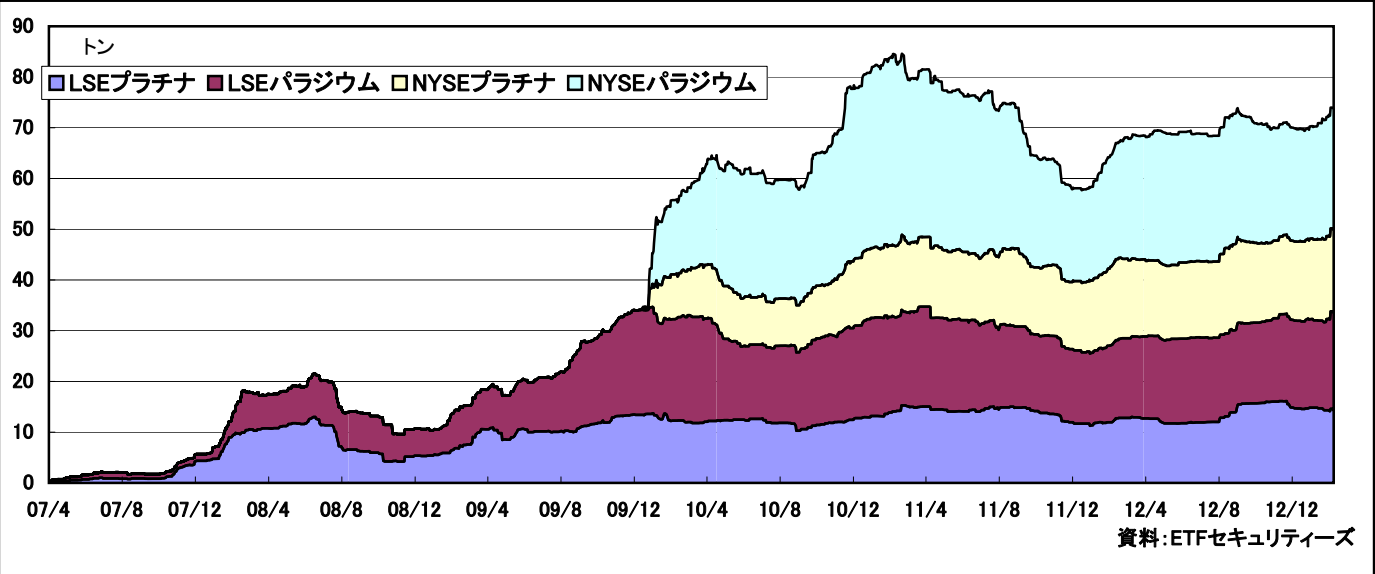
(オーバルネクスト 東海林勇行/2月28日記)

<免責事項>

オーバルネクストは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終決定はご自身の判断で行いますようお願いいたします。また掲載している情報の正確性については万全を期してはおりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、当社は利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、当社が提供するすべての情報について、当社の許可なく転用・販売することを固く禁じます。

ロンドンのプラチナETF残高は減少

●PGMのETF現物保有高



■最近の動向と材料

ロンドン証券取引所(LSE)に上場しているプラチナ・パラジウムのETFの現物保有量(メタルセキュリティーズ分)は27日時点でプラチナが14.26トン、パラジウムが19.22トンとなり、前週末比でプラチナが0.35トン減、パラジウムが0.01トン増となった。一方、ニューヨーク証券取引所(NYSE)のプラチナ・パラジウムETFの現物保有高は27日時点でそれぞれ16.33トン、23.81トンとなり、前週末比でプラチナ、パラジウムともに横ばいとなった。

欧州委員会が今年のユーロ圏の経済成長率見通しをマイナス成長に下方修正するなどし、景気回復の遅れが懸念されたことがプラチナETFの売り要因となった。一方、米国の景気回復見通しなどで自動車販売の好調が見込まれ、パラジウムETFは買われやすくなっている。

【ETFセキュリティーズ】

	ロンドン証券取引所(LSE)				NY証券取引所(NYSE)	
	プラチナ	パラジウム	銀	金	プラチナ	パラジウム
13/02/21	14.12	18.12	904.53	165.81	16.33	23.81
13/02/22	14.61	19.21	904.53	164.55	16.33	23.81
13/02/25	14.61	19.21	904.53	161.93	16.33	23.81
13/02/26	14.51	19.22	904.53	161.04	16.33	23.81
13/02/27	14.26	19.22	900.34	161.05	16.33	23.81

単位:トン

資料:ETFセキュリティーズ

(オーバルネクスト 東海林勇行/2月28日記)

<免責事項>

オーバルネクストは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終決定はご自身の判断で行いますようお願いいたします。また掲載している情報の正確性については万全を期してはおりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、当社は利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、当社が提供するすべての情報について、当社の許可なく転用・販売することを固く禁じます。